

動物病理検査のご案内と検体送付時のご注意

2016年3月1日作成

株式会社 栄養・病理学研究所

□ 病理組織検査（生検材料，外科切除材料，剖検材料[※]）

[※]ご依頼者様（臨床獣医師）が実施した剖検材料（全身諸臓器）に対する病理組織検査です。

- HE染色での病理組織診断が原則ですが、病理診断医の判断により、特殊染色や免疫染色（基本料金に含まれる）を実施いたします。ご希望がございましたら、お気軽にご連絡ください。
- 免疫染色は2016年3月現在、リンパ腫（T細胞，B細胞）に対するCD3およびCD20，CD31（血管内皮マーカー），Ki-67（細胞増殖マーカー），サイトケラチン AE1/AE3（汎上皮マーカー），ビメンチン（間葉系マーカー），Melan A（メラノーマ），Iba-1（マクロファージ），S-100（神経系マーカー），c-kit（GIST），クロモグラニン A（神経内分泌腫瘍）， α -SMA（平滑筋マーカー）が実施可能です。その他にもご希望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

検体送付方法

- ・ 固定液は10～20%ホルマリン（市販のホルマリン原液を水道水で5～10倍に希釈）です。
- ・ 材料を摘出または採材後、速やかに固定液が入った容器に入れてください。
- ・ 蓋を閉めてビニルテープやパラフィルムを巻き、さらにビニル袋等で包んでください。
- ・ ホルマリン固定により臓器が収縮・変形するため、口の広いプラスチック容器を使用してください。
- ・ ガラス瓶、タッパー、ヒートシールできないジッパー袋は、ホルマリン漏れの原因となるため避けてください。
- ・ 大きい臓器（目安：タバコの箱より大きいもの）や被膜を有する臓器は、割を入れてください。ただし、できるだけ病変中心部は避けてください。
- ・ 生検（内視鏡生検，Tru-cut等）は生検用カセットまたはチューブに入れてください。
- ・ 胃や腸は切り開き、濾紙や厚紙に粘膜面を上にして、虫ピンやホッチキスで止めてから固定液へ浸漬してください。
- ・ 血液や体液は固定不良の原因になるため、できるだけ洗い流してから容器へ入れてください。浸漬中にホルマリンが汚れた場合は、一度ホルマリンを交換されることを推奨いたします。
- ・ ホルマリン漏れに十分ご注意ください、民間の宅配便業者をご利用ください。
- ・ 申し訳ございませんが、送料はご依頼者様のご負担とさせていただきます。

□ 剖検（死後検査） 病理組織検査も含まれます。

- ご遺体は冷蔵でお送りください。腹部臓器の死後変化を抑えるため、とくに腹部に保冷剤をしっかりと当ててください。
- 出張剖検（別途出張料金あり）も可能な限り対応いたします。お問い合わせください。
- ご遺体は原則として剖検後、切開部を縫合し、清拭してからご依頼者様（臨床獣医師，飼い主様）にお返しします。剖検に立ち会う場合、縫合・清拭のお手伝いをさせていただく場合があります。
- 追加検査（微生物検査，遺伝子検査等）が必要な場合は、別途請求させていただきます。

□ 細胞診

- スライドガラスに塗抹あるいはスタンプ後、冷風で充分にご乾燥ください。
- 可能な限り標本は複数枚作製してください。
- メタノールで5分以上固定した後、風乾し、送付してください。
ただし、すぐに送付する場合は、未固定(風乾)でも可能です。
- 染色済み標本(ハマカラー、ディフクイックなど)の場合、検体によっては弊社で染色をし直すため、報告が遅れることがあります。

□ 液体サンプル(腹水, 胸水, 尿など)

- すぐに処理できない場合は、冷蔵保存してください。
- 遠心する前に、必ず直接塗抹標本を作成してください。
- 遠心分離(1,000~1,500rpmで5分)後、上清を捨て、沈渣を塗抹して充分に風乾してください。
- 胸水や腹水は、可能な限り肉眼性状、細胞数、TPなどの情報を付記してください。
- 尿は、肉眼性状、比重、pH、グルコース、蛋白、潜血、ビリルビンなどの情報を付記してください。

□ 依頼書ご記入にあたって

依頼書には、動物の個体情報の他、臨床経過、既往歴、各種検査所見、病変分布、疑っている疾病、病理検査によって知りたいことなど、できるだけ詳細にご記入ください。

病理診断の精度向上のため、ご協力よろしくお願いします。

□ その他

- 学会発表等(共同研究)の場合、割引いたします。また、スライド作成等サポートいたします。
- ご希望がございましたら、勉強会、院内セミナー、GPC(臨床病理検討会)など対応いたします。
- その他、日々のご研究サポートいたします。
- まずはお気軽に下記までお問い合わせください。

【検体送付または連絡先】

株式会社 栄養・病理学研究所 (担当: 中村)

TEL: 0774-99-7331 / FAX: 0774-99-7332

〒610-0231

京都府綴喜郡宇治田原町立川古池谷 7-2

E-mail: nakamura@kyoto-inp.cc

